

USシステムA型 感知フラッシュバルブ

TEA95(在来工法壁用)

TEA96(100×100タイル壁用)

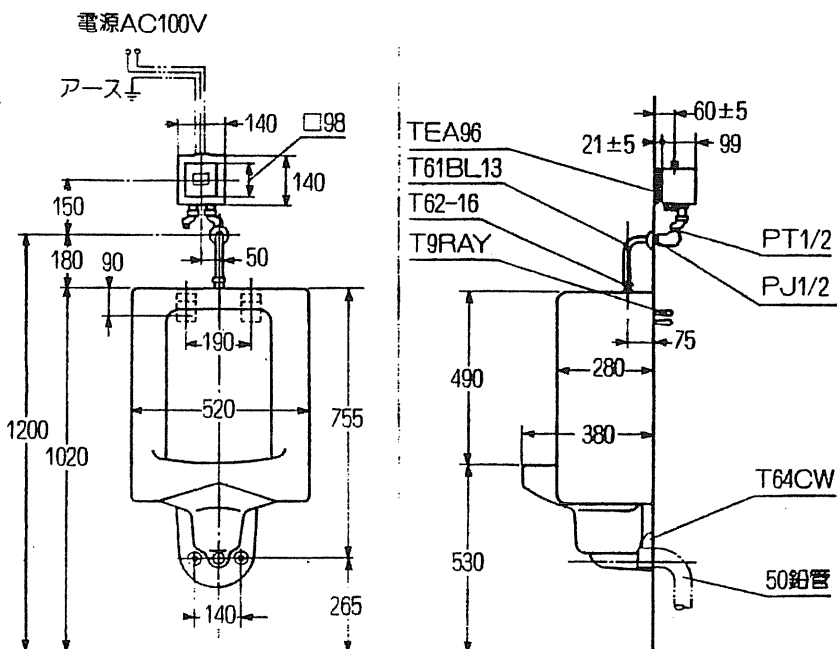
取付説明書

この製品の機能が十分発揮できるように、この説明書にそって正しく取付けてください。

■標準取付け図(U406C+TEA96)

注) 陶器の品番により取付寸法が異なります。

詳細は工事用図面を参考の上、取付けてください。



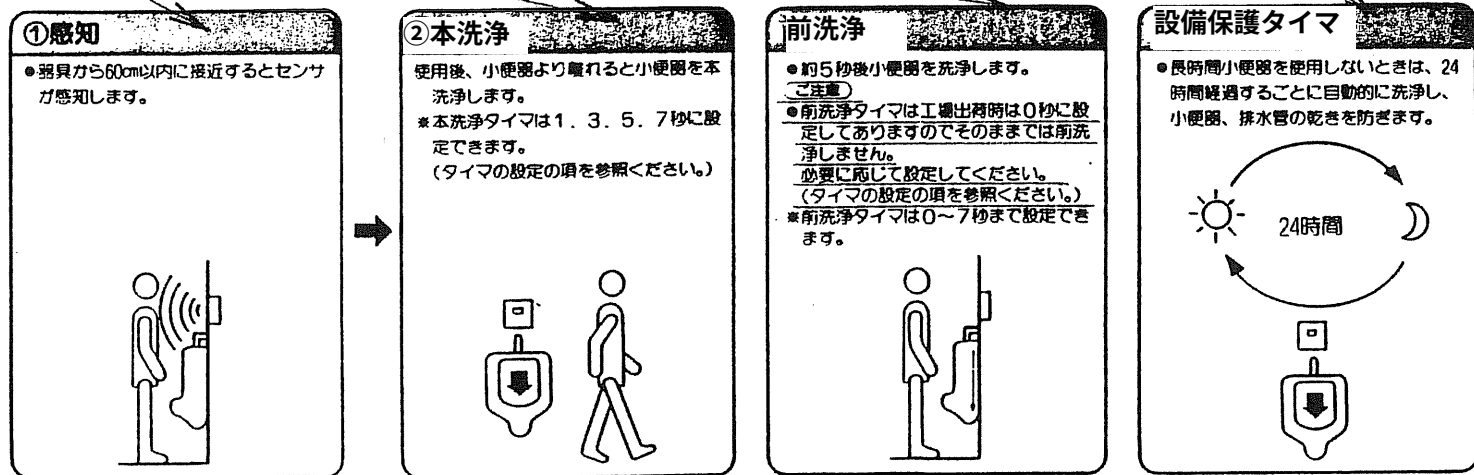
■仕様

項目	TEA95	TEA96
外形寸	120(縦)×120(横)×5(奥行)	98(縦)×98(横)
電源電圧	AC100V 50/60Hz	
消費電力	常時4W(作動時10W以下)	
感知距離	器具前面より60cm以内	
周囲温度範囲	0~40℃(水温は1~50℃)	
給水部接続	15Aガスねじ	
感知時間	5秒間以上(5秒未満では作動しない)	
給水圧力	最低必要水压0.7kgf/cm ² 最高水压7.5kgf/cm ²	
吐水量	4ℓ/回~5ℓ/回に調節可能	

■梱包明細

- フラッシュバルブ部(電磁弁付)..... 1個
- 光電センサ付カバー..... 1個
- 養生カバー付取付板..... 1個
- 脚(給水脚・吐水脚)..... 2個
- 電線管コネクタ..... 1個
- AYボルト・アジャスタボルト..... 各4個入
- 吸盤..... 1個

■作動のしくみ このシステムは、衛生的かつ経済的に作動するように設計されています。

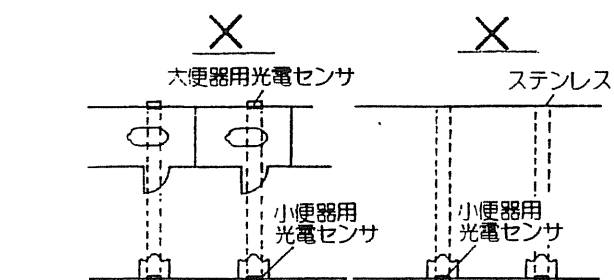
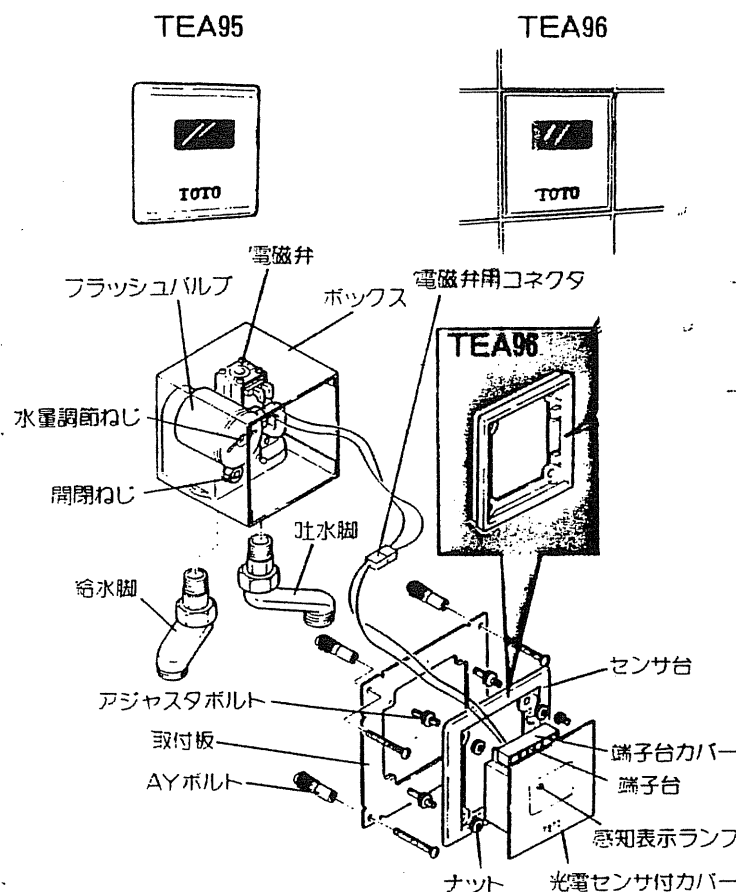


■取付け前に

- 水道工事と電気工事は十分に工程を打合せの上行ってください。
- 万一の際の危険防止のため、必ず過電流しゃ断器、漏電しゃ断器を設置してください。
- アース端子付きですので必ず第3種接地工事を行ってください。
- 電源線、アース線は現場でご用意ください。
使用電線：2mm²又はφ1.6mm以上の600V絶縁電線又はケーブル。

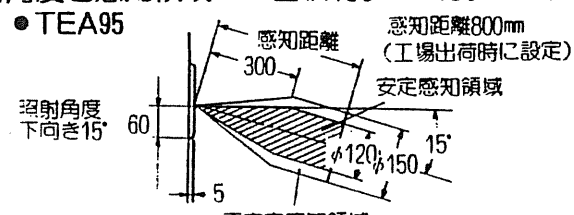
- 給水圧力範囲は最低必要水压0.7kgf/cm²、最高水压7.5kgf/cm²です。この圧力範囲でご使用ください。
- 給水は上水道に接続してください。中水道および異物を多く含む水には使用できません。
- センサ面は傷つけないよう十分ご注意ください。
- 電気器具ですから、水をかけないよう注意してください。
- センサの照射角度及び感知距離は次図のとおりです。なお、小便器の前に手すり等を設置する場合は光電センサの感知領域内（安定感知領域内及び不安定感知領域内）に障害物が入らないように設置してください。また、光電センサ正面の壁がステンレス等反射しやすい場所への設置や、光電センサ同士（大便器自動洗浄システム用光電センサを含む）が対向するような設置は誤動作を生じますので避けてください。

■各部の名称

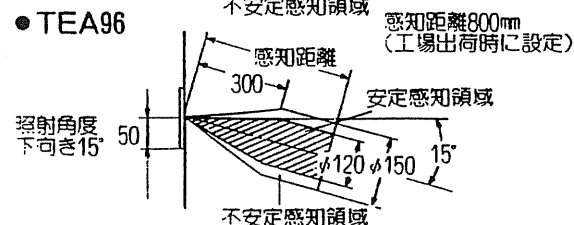


照射角度と感知領域 ※白紙150mm×150mmの場合

●TEA95



●TEA96

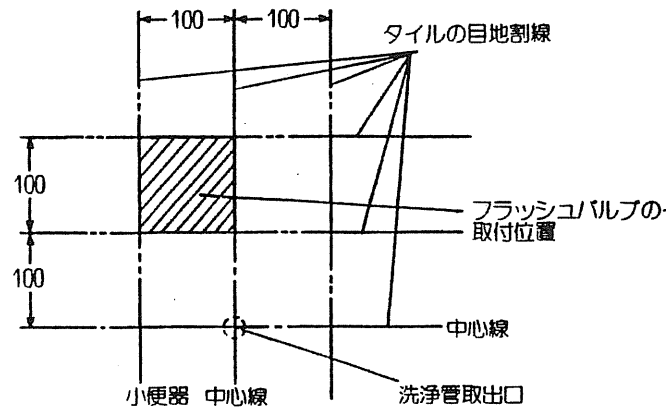


1

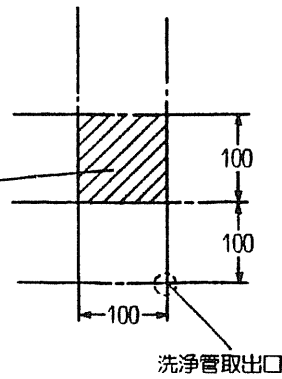
取付位置の墨出し

下地壁に取付位置を示す中心線を墨出しします。

TEA96



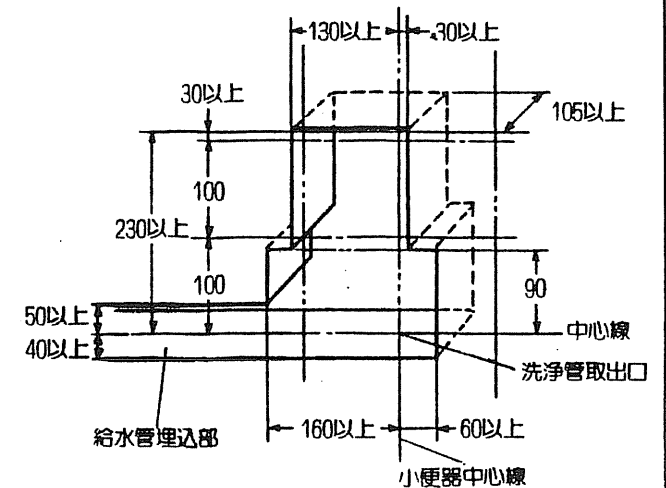
TEA95



2

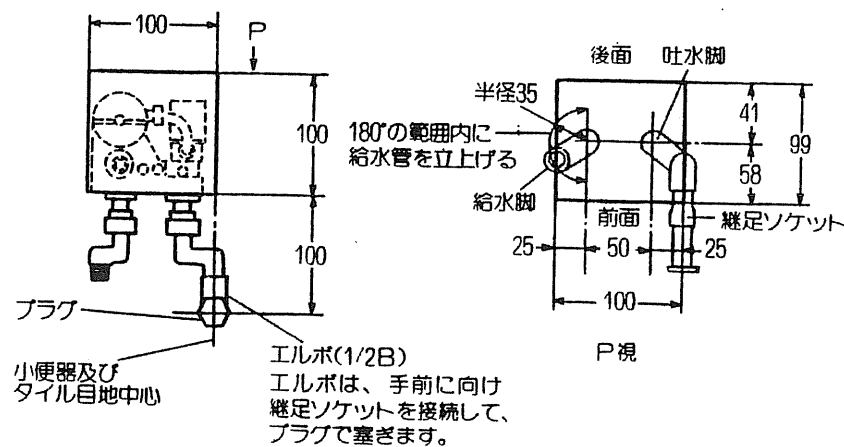
下地壁のはつり

図の寸法に合わせて下地壁をはつります。



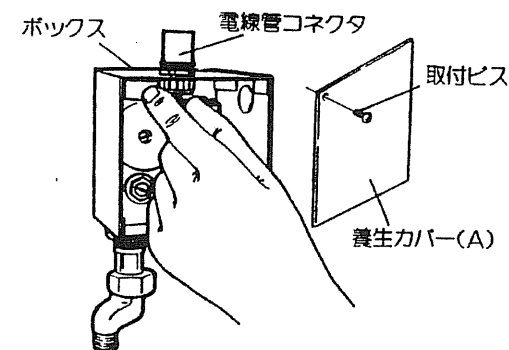
3 給水・吐水脚の取付け

フラッシュバルブに給水・吐水脚を仮固定します。また、吐水脚にエルボ(1/2B)をねじ込みます。このとき、脚の向きは、給水側は下図のように任意の位置に、吐水側は下図のようにボックスの端に合わせてください。



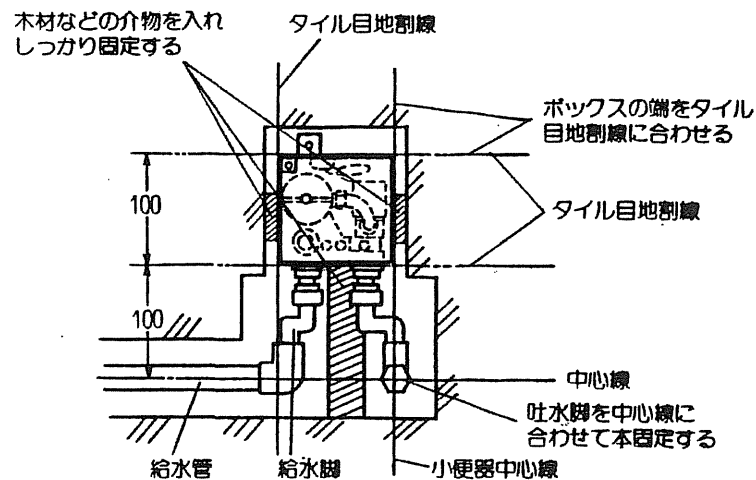
4 電線管コネクタの取付け

一旦養生カバー(A)を外し電線管コネクタをノックアウト部に取付けます。ノックアウト部は、ボックス上面、右側面にそれぞれ1カ所ずつありますので、いずれかを抜いて電線管コネクタを接続してください。接続後、再び養生カバー(A)をボックスに取付けてください。



5 ボックスの位置合わせ及び給水管の接続

- ①はつた壁に器具を収め、位置合わせを行います。このとき、器具が水平になるように介物を入れてしっかり固定してください。
- ②給水管を配管し、給水管内のゴミ、砂等を完全に洗い流した後、給水脚に接続します。
- ③給水脚を本固定します。



ご注意

- ボックス端面とタイル目地割線のずれは±5mm以内としてください。
もし、ボックス端面とタイル目地割線がずれたときは、吐水脚をタイル目地割線に合わせて本固定してください。
- 埋戻し前に必ず埋込配管接続部の漏水がないか確認してください。

6 電源線、アース線の接続

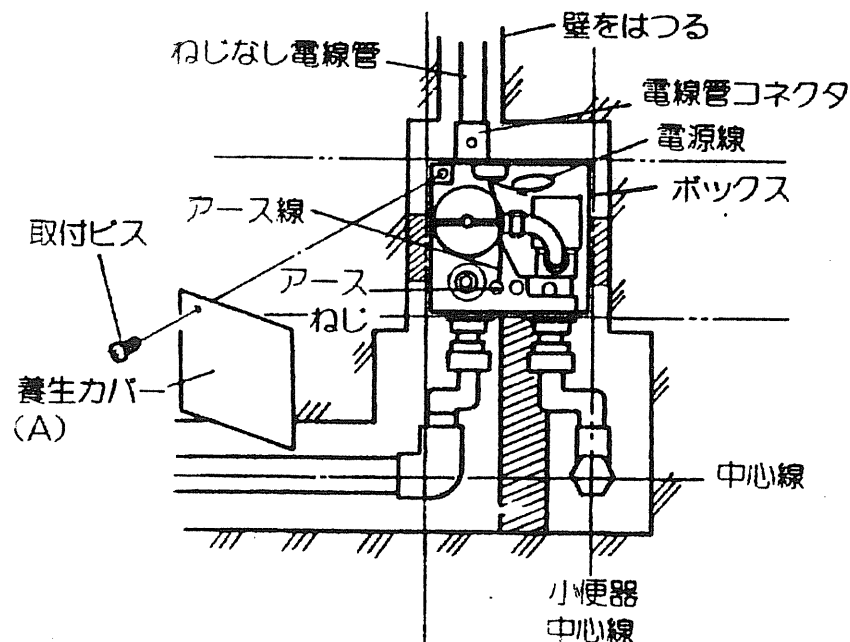
①電線管コネクタ部の壁をはつり、電線管を電線管コネクタに接続します。

②養生カバー(A)を外し、電源線、アース線を電線管に通してボックス内に引込み、アース線をアースねじに接続します。

なお、電源線は手順④で光電センサに接続しますので、長さ約300mm程度をボックス内に引込んでおいてください。

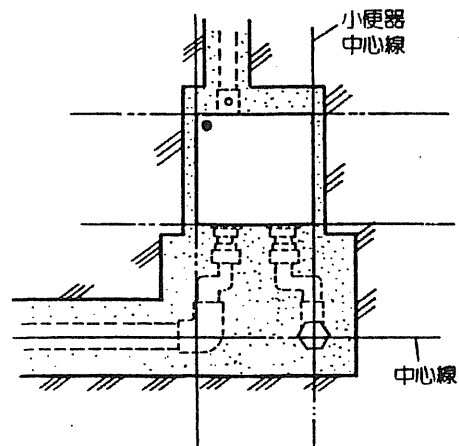
③配線引込み後、養生カバー(A)をボックスに固定します。

※使用電線管：ねじなし電線管E19(現場手配)



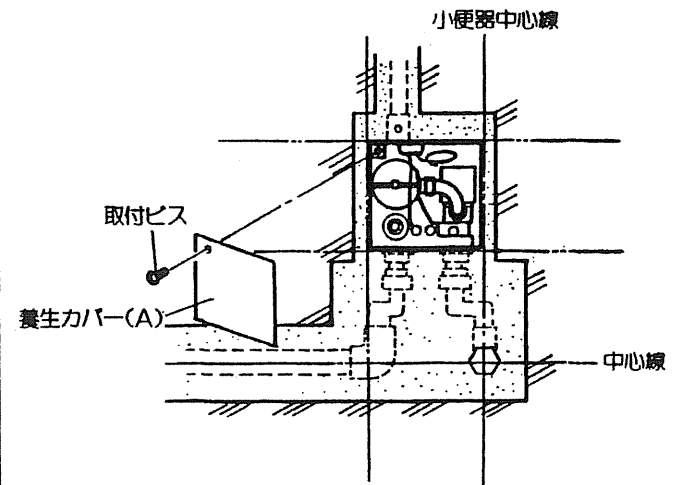
7 下地壁の埋戻し

ボックスの周囲をモルタルで埋戻します。



8 養生カバーの取外し

養生カバー(A)を取外します。

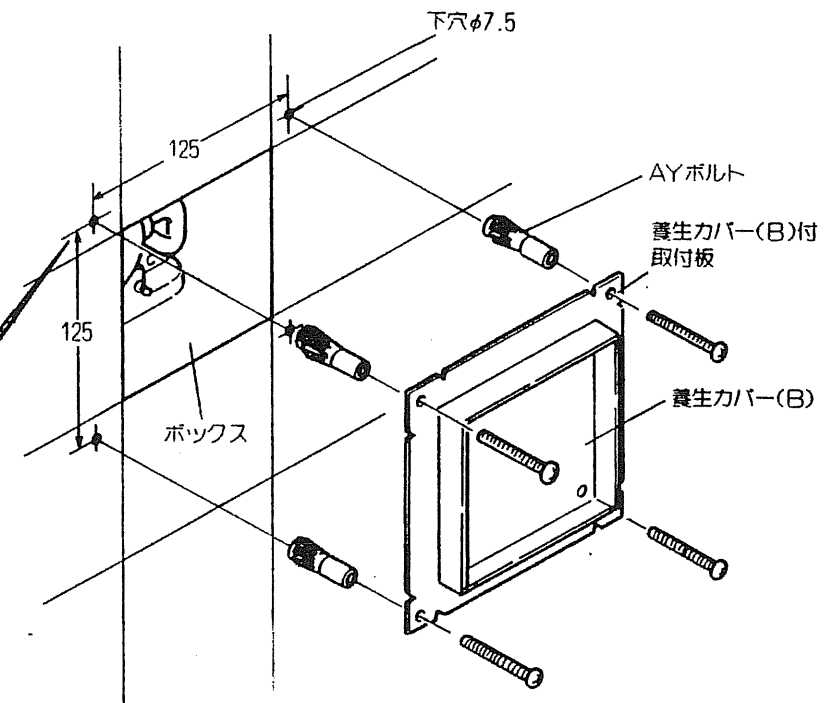
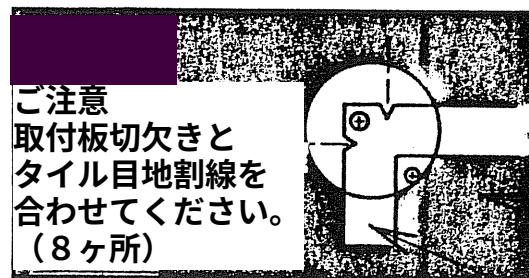


9 取付板の固定

養生カバー(B)付の取付板をAYボルト(4本)で下地壁に固定してボックスを覆います。(AYボルトの下穴は $\phi 7.5$ ドリルをご使用ください。)

ご注意

取付板の取付けが狂うと、タイルが張れなくなったり、光電センサーが取付けられなくなりますので注意してください。



10 下塗りモルタル施工・タイル張り・目地詰め

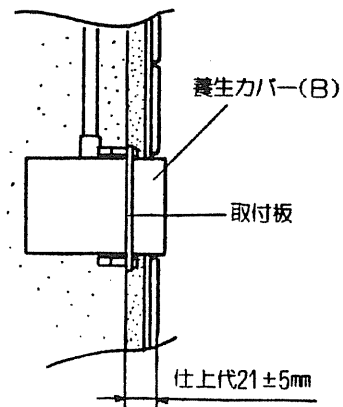
①下地壁にモルタルを下塗りします。

②養生カバー(B)を付けたまま、タイルを張り、養生カバー(B)の周囲を除いて目地詰めします。

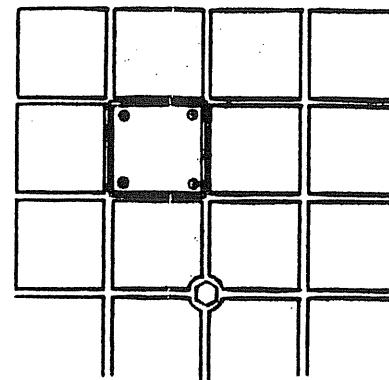
タイルの水洗いはこの状態で行ってください。

ご注意

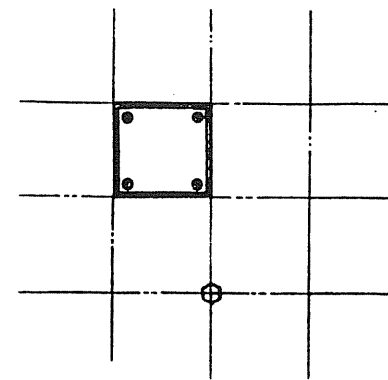
酸洗いは器具を傷めますので行わないでください。



TEA96

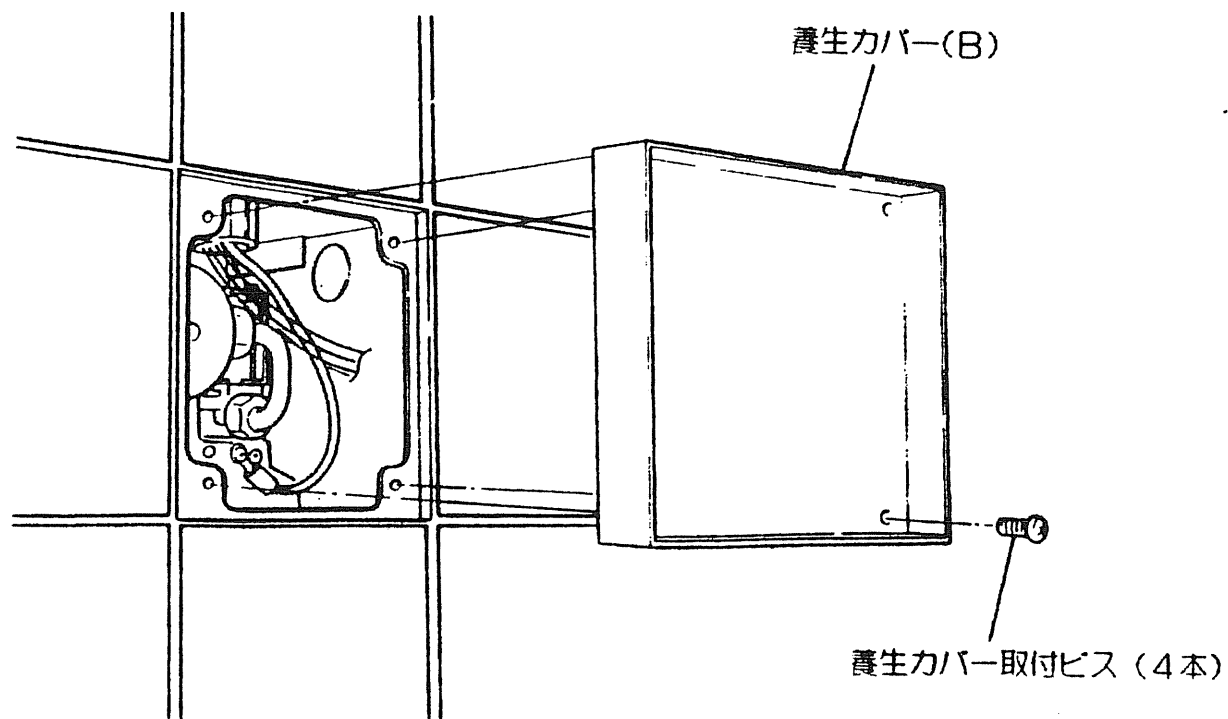


TEA95



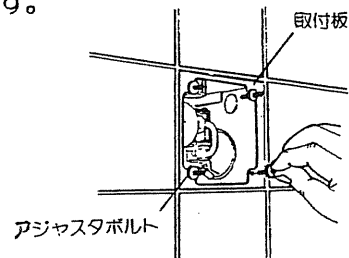
11 養生カバーの取外し

取付ビスを外して、養生カバー(B)
を壁面から引抜きます。

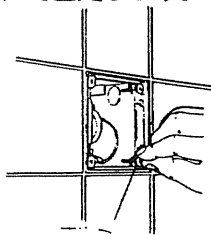


12 センサ台の取付け

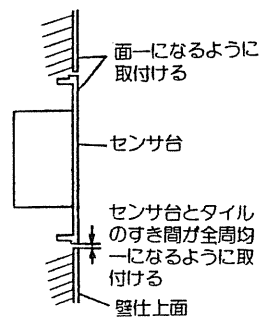
- ①取付板にアジャスタボルト(4本)をねじ込みます。



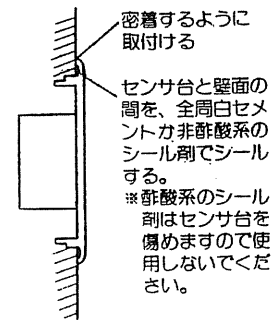
- ②センサ台をはめ、アジャスタボルトで調節した後、ナットで固定します。



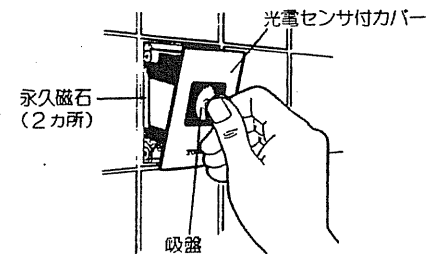
TEA96



TEA95

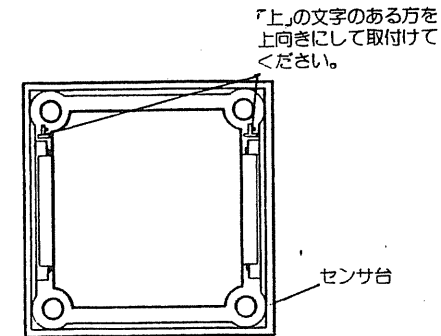


- ③光電センサ付カバーを永久磁石の部分に吸着させ四隅を押えて、ガタツキがないことを確認します。ガタツキがある場合は、図のように付属の吸盤を使って光電センサ付カバーを外し、アジャスタボルトを調節してください。調節後は、光電センサ付カバーを外してください。



ご注意

- センサ台にソリが出ると、光電センサ付カバーがガタついたり、器具を破損したりしますので注意してください。
- センサ台は方向性がありますので、取付けの際は注意してください。



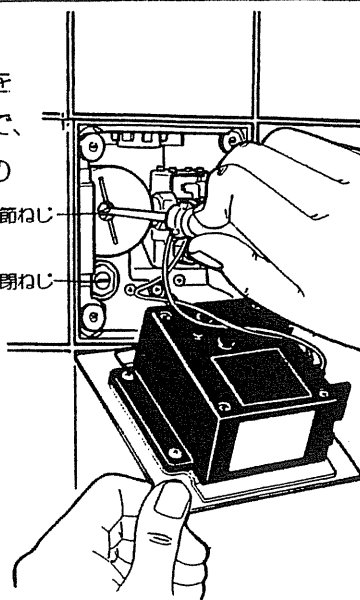
●水量・水勢の調節

①センサを手でおおい10秒以上経過後、手を離すとフラッシュバルブが作動しますので、最適な水勢で約10秒間洗浄するように次の調節をしてください。

- 水量調節ねじ
水量が多いときは右に、少ないときは左に回します。
- 開閉ねじ
水勢が強いときは右に、弱いときは左に回します。

水量調節ねじ

開閉ねじ



●注意

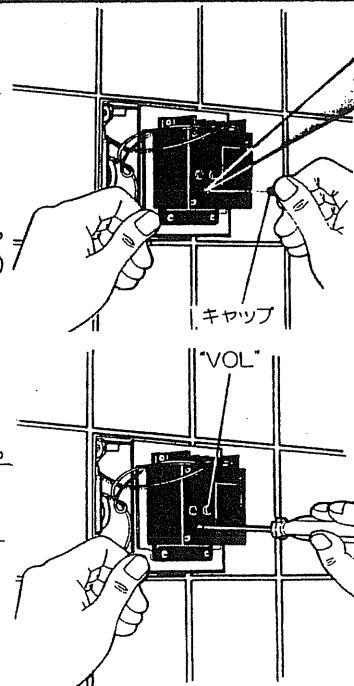
通電時は危険ですので端子台には絶対に手をふれないでください。

●感知距離の調節

- 感知距離は工場で調節後出荷しておりますので、通常の調節は不要ですが、万一通常の使用状態で感知しなかったり、対向壁等を感知してしまうときは、次の要領で調節してください。
- ボリュームのキャップをとり調節してください。
- ①感知しない場合（感知表示ランプが点灯しない）は、ボリュームを右に回します。
- ②感知しつばなしの場合（感知表示ランプが消灯しない）は、ボリュームを左に回します。

●注意

- ボリュームは少しずつ回して調節してください。
- ボリュームに無理な力を加えないでください。
- 感知距離を必要以上長くすると誤動作の原因となりますので、必要最少限度としてください。
- 通電時は危険ですので端子台には絶対に手をふれないでください。

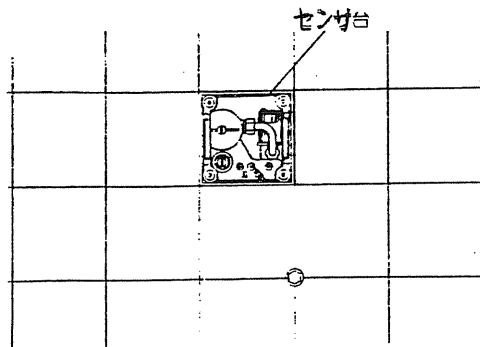


■感知距離調節 ボリューム



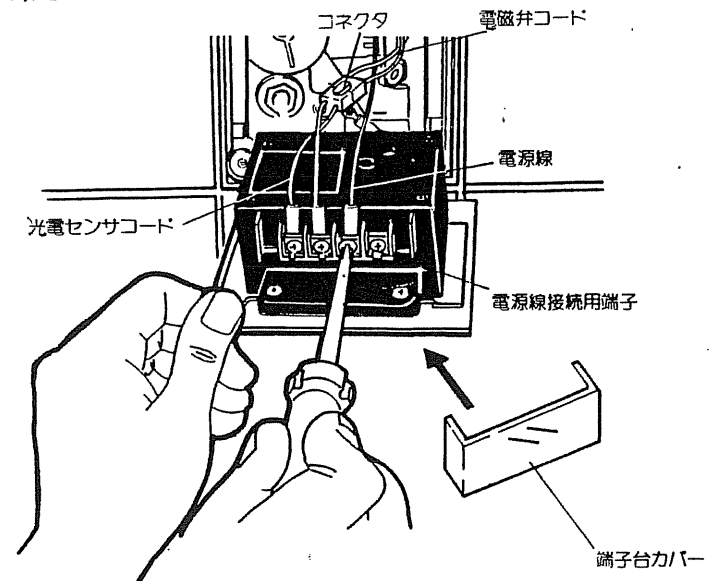
13 目地詰め(TEA96のみ)

センサ台の周囲を白セメントか非酢酸系のシーラ剤で目地詰めします。酢酸系のシーラ剤は、センサ台を傷めますので使用しないでください。



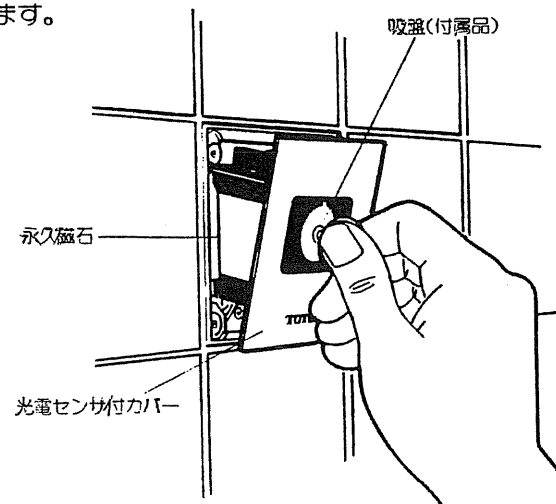
14 電源、コネクタの接続

- ①端子台カバーをはずし、光電センサに電源線を図のように接続します。接続後は必ず端子台カバーをはめ込んでください。
- ②電磁弁コードと光電センサコードのコネクタを接続します。



15 光電センサ付カバーの取付け

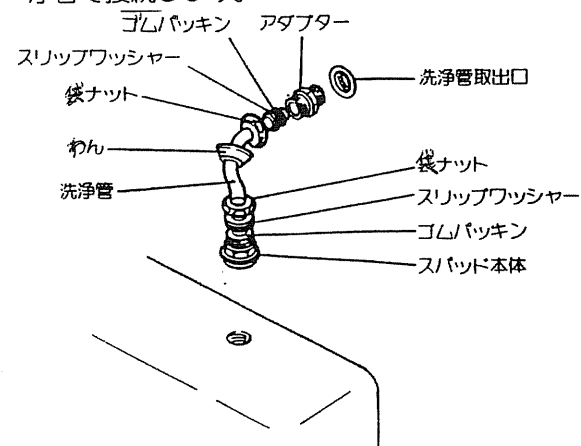
光電センサ付カバーを図のように永久磁石の部分に吸着させます。



16 洗浄管の取付け

①洗浄管出口のプラグを外し、アダプタをねじ込みます。

②アダプタと小便器スパッド間を洗浄管で接続します。



17 取付完了後の確認

配線、配管に間違いがないことを確認後、通水、通電し、通常の使用状態（作動のしくみ参照）で作動するかどうか確認します。
又、各部に漏水のないことを確認します。

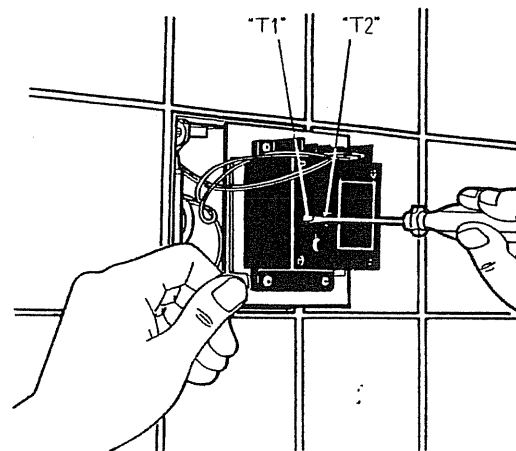
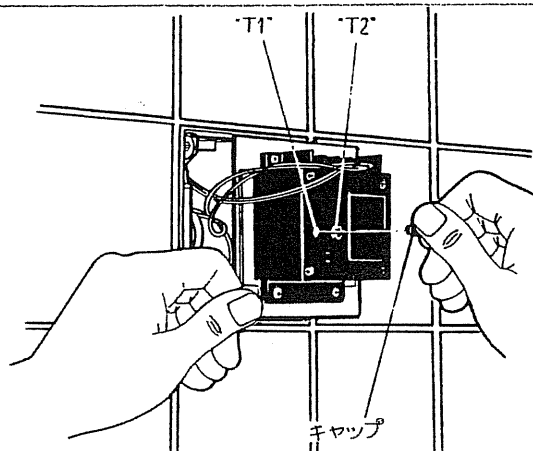
●タイマの設定

(タイマは、本洗浄タイマ (T1) を5秒、前洗浄タイマ (T2) を0秒に工場で設定し出荷しております。)
必要に応じ、次の要領で設定してください。

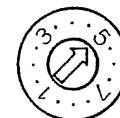
キャップをとり、ドライバーで希望の時間に設定します。

●ご注意

通電時は危険ですので端子台には絶対に手をふれないでください。

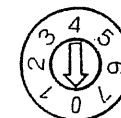


T1



●本洗浄
タイマ
1、3、5、7秒
に設定でき
ます。

T2



●前洗浄
タイマ
0～7秒に
設定できま
す。